

「プロテアソーム機能不全による炎症性皮疹の病態と遺伝的背景の解明」

【お知らせ】

当院で多発性骨髄腫に対してボルテゾミブ（商品名：ベルケイド、2006年12月発売）による治療を受けられた方で、ボルテゾミブの副作用と考えられる皮疹を生じて皮膚生検（皮膚の組織検査）を受けられた方およびご家族にお知らせがあります。

現在当院は、自己炎症性疾患である中條-西村症候群と、ボルテゾミブの副作用で生じた皮疹との発症機序の関連性についての多施設共同研究（主幹研究施設：和歌山県立医科大学・皮膚科）に参加しています。ボルテゾミブの副作用で発症した皮疹と中條-西村症候群との間には直接の関連性はありませんが、ボルテゾミブの副作用で生じた皮疹を解析することにより、中條-西村症候群の発症機序あるいは遺伝的背景を解明することができるのではないかと考えられて研究が開始されています。

研究には、ボルテゾミブの副作用と考えられる皮疹を生じた際に採取された皮膚組織のうち診断に用いた残りの部分を利用させていただきます。その検体を用いて病理組織学的検査、分子生物学的検査、分子遺伝学的検査などが行われます。

検体を研究施設に送る際には、該当患者様の個人情報には匿名化され、個人情報は保護されるように配慮されます。また本研究は多施設共同研究であり、主幹研究施設である和歌山県立医科大学の倫理委員会および当院の院内倫理委員会で承認されていることも申し添えます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

ご質問やご意見のある方は岡山医療センター代表（086-294-9911）から当院研究担当者までご連絡をお願い致します。

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター皮膚科 浅越健治